

2014年4月23日

記者発表要旨

## A3判縦通し LED-UV 封筒印刷システムを開発 RYOBI 3304HA LED-UV、3302HA LED-UV を発売開始

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社(代表取締役社長 堂本 秀樹)は、「LED-UV 印刷システム」をA3判縦通しオフセット4色印刷機 RYOBI 3304HAと、2色印刷機 3302HA の排紙部内に設置する開発を行なった。来る2014年5月15日～5月17日に開催されるJP2014 情報・印刷産業展(於、インテックス大阪)に RYOBI 3304HA LED-UV をA3判縦通し LED-UV 封筒印刷システムとして、アルファード研製の封筒フィーダーとカウントバケット装置との組合せで出展し、発売を開始する。

本年2月20・21日のオープンハウス(於、東京ショールーム)で、LED-UV 印刷システムを搭載したA3判縦通しオフセット4色印刷機 RYOBI 3304HA を参考出品し、封筒への4色カラー即乾印刷の実演を行なった。多くのお客様の声を聞いた結果、コンパクトな機械サイズと排気ダクト不要で設置が容易な点や、封筒用途でのインキ裏移り防止、省エネルギーでの評価が高く、今回の発売開始に至った。

当社では、コンベア搬送タイプの LED-UV 封筒印刷システムの導入実績があるが、「設置スペースが余分に必要となる為、導入を躊躇する」という声を聞いていた。RYOBI 3304HA と LED-UV の両方のコンパクトさを生かした設計により、従来のコンベア搬送タイプに比べて機械設置面積を約30%削減することに成功した。

A3縦型から四六全サイズまで幅広いオフセット枚葉印刷機のラインアップを持つリョービMHIグラフィックテクノロジーは、2014年1月1日より始動。お客様と共に問題解決に取り組み、最適なソリューションを提案する取組みとして、初の新商品リリースとなる。

A3判縦通し LED-UV 封筒印刷システムは、次のようなメリットを持っている。

- ① ランプ式と比較して、消費電力が約80%少なく済み、電気代が削減できる。
- ② 光源が長寿命で交換頻度を大幅に減らすことができる。(対ランプ方式比較 15倍)
- ③ オゾン発生がなく、環境にやさしい。また、排気のためのダクト工事が不要で、印刷機に LED-UV を搭載しても、機械設置面積は変わらない。
- ④ 封筒のカラー即乾印刷ビジネスに威力を発揮する。インキ裏移りが防止できる。油性インキによる紙封筒への印刷の場合、急いで納品すると、乾燥が十分でなく、ベタ部の裏移りが納品時に発覚するなどのトラブルもあった。  
出展する RYOBI 3304HA は、機械本体の最高印刷速度は、毎時10,000枚。封筒給紙装置との接続時は、毎時8,000枚が可能。
- ⑤ UV 印刷特有の臭いが軽減できる。従来は、箱詰めされた封筒を箱から取り出す際の UV 印刷の臭いが、選定した諸材料によっては、気になることもあった。
- ⑥ LED-UV 照射光は、赤外線を含まないため、乾燥装置からの発熱が抑えられる。熱による印刷物の収縮を防ぎ、フィルム封筒への印刷にも適している。



A3 判縦通し LED-UV 封筒印刷システム  
RYOBI 3304HA LED-UV

お問い合わせ先

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社 営業統括部 担当:北村

〒114-0003 東京都北区豊島 5-2-8 Tel.03-3927-3300 Fax.03-3927-5716